

大分森林管理署(令6)機械設備工事を受注いただいた 首藤設備工業(株) 監理技術者の方に聞いてみました

(令和8年度 優秀現場代理人等工事部門 事務所長表彰)

◆この仕事のやりがいとは？

建設現場には、多岐にわたる工事があります。建物を完成させるまでの期間、多様な業種の方たちと工事を進めていくなかで、苦楽を共有し信頼関係の構築をしていくことが、この仕事のやりがいです。

◆今の仕事を目指したきっかけは？

泥だらけでスコップを持ち、一生懸命に汗水流して作業する職人さんの姿を見て、カッコいいと思ったことがきっかけでした。

◆本工事の取組みで特に印象に残ったことは？

一般的に、天井内に隠す機器や配管は、建物の構造体から直接支持金物を取付け、その荷重等を持たせます。本工事ではそれが出来ないため、耐火被覆施工後その上から二次部材（等辺山形鋼）を設置し、支持金物を取付けました。この場合、二次部材以降（支持金物を含む）にその荷重等がかかるため、全ての吊り箇所ですべて荷重等を算出し許容静荷重の判定と支持金物等の規格選定を実施し、資機材等の落下安全性を確認したことです。

(営繕部 調整課インタビュー)



ご本人の現場での様子



天井内支持金物等設置状況

本工事で、大分県大分市に大分森林管理署庁舎を新築（機械設備を担当）しました。

構造階数：木造2階建て

延べ面積：529㎡

完成時期：令和7年1月15日～
令和8年1月9日



全景写真



天井内隠ぺい配管の自主検査



洋式トイレ設置状況